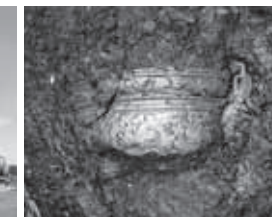




上/相馬大作事件の発端となる津軽藩に送った「隠居勧告文」
中/腰に付けていた刀
下/相馬大作が祀られている大作神社(香香稲荷神社境内)



左/是川縄文館外観
中/中居遺跡 木胎漆器出土状況
右/中居遺跡出土 縄文土器集合

江戸時代に日本の未来を見据えて行動を起こした二戸の偉人

相馬大作没後200年

もっと知りたい
二戸歴史民俗資料館へ!
▶住所…二戸市福岡字長嶺80-1
▶開館時間…9時～16時30分
▶休館日…月曜日、祝日の翌日、年末年始(12月29日～1月3日)
▶観覧料…一般50円(団体30円)、小～高校生20円(団体10円)
※団体は10人以上
☎0195-23-9120

武士の鑑、大作の生涯
二戸市福岡で南部藩士の次男として生まれた下斗米秀之進(のちの相馬大作)。兄を思っただ家出を決意し、江戸で「講武実用流」という武術を学びました。二戸に戻ってからも師の志を受け継いだ塾「兵聖閣」を開き、国や地域を守る人材の育成に努めました。
そんな中、津軽藩主に隠居と反省を求めた隠居勧告文を携え「相馬大作事件」を起こします。作戦は失敗しますが実はそれも想定済み。結果的に誰一人命を落とすことなく、大作の目的は達成されました。
しかし、幕府に目を付けられ、後に大作は処刑されますが、国の将来を見つめ、多くの人材を育てた彼の生き様は当時の人々に大きな影響を与えました。

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産

是川石器時代遺跡

是川縄文の日
11月3日(木・祝)は、無料開放を行うほか、楽しみながら縄文を学べるさまざまなイベントを開催します! 詳細は当館HPを確認ください。
▲HPはこちら

世界遺産登録1周年
世界遺産となった是川石器時代遺跡は、縄文時代晩期(今から約3千年前)の亀ヶ岡文化を代表する集落遺跡です。中でも中居遺跡からは、高い精神性と工芸技術を示す精巧な土器や土偶、漆製品、木製容器などが出土しています。また、狩猟具や漁労具、堅果類、動物骨のほか、堅果類の加工などを行った水辺の作業場もみつかっており、当時の生業を考えるうえで重要な遺跡となっています。
遺跡は整備のため閉鎖中ですが、隣接する八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館で中居遺跡の出土品を見学することができます。
縄文の美を心ゆくまで堪能してみませんか。
是川縄文館
☎0178-38-9511



二戸市民文士劇は 10月8日(土)、9日(日)!

▶日時…①8日18時開演(17時開場)、②9日14時開演(13時開場)
▶会場…二戸市民文化会館大ホール
▶入場料…前売券大人1,500円、中高生800円、当日券大人1,900円、中高生800円
▶予約受付…二戸市民文化会館、はっち、久慈市文化会館(アンバーホール)、盛岡川徳プレイガイド、など
☎二戸市民文化会館(担当: 館林☎0195-23-7111)

イベント情報 八戸・二戸の



きのこ形土製品

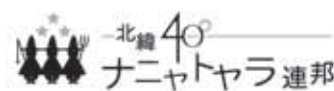


シカ

秋季企画展「食と縄文人」10月8日(土)～11月20日(日)

縄文人は命をつなぐために、どのように食料を集め・加工し、食べていたのでしょうか。八戸地域の遺跡からみつかった動植物資料を中心に、北東北にくらした縄文人の食を紹介します。

■関連イベント
①企画展考古学講座(要申込)
▶日時…11月5日(土)14時～16時
②企画展ギャラリートーク
▶日時…会期中毎週土曜日14時
※11月5日は10時



「北緯40°ナニヤトラ連邦」ロゴマーク
釣り具や農具は、三圏域の誇る産業を、また、三つの星は、北緯40°台の同緯度において、同じ星空を見る三圏域の共同性や一体感を象徴します。

「広報紙面交換」

八戸市・二戸市・久慈市は、古くから密接な関係にある地域です。この事業は、3市でお互いのまちの魅力を広報紙で紹介し合う交流企画です。八戸市と二戸市の話題が掲載される、「広報はちのへ」、「広報にのへ」は、各市ホームページをご覧ください。